

徳田 秋 おさむ

元理事長がご逝去



徳田先生のご逝去を悼む

学生時代には豊川の学生寮で一年間一緒にいたこともあり、徳田邸での会には自らコーヒーなどを運んでいたいただいた先生とゆっくりお話もしたかったのに残念です。やがて三十年を迎えようとするあじま診療所の今日は徳田所長の長年の活動なしに語ることはできません。一方、味鋤でも絶えず革新運動の先頭に立っていただきました。仲間が病床をお訪ねした時も、苦しい息づかいの中で味鋤地域での運動の継承を強く願っておられたとのこと。先生の意思を継いで歩もうと思っております。

味鋤支部
佐藤 宣夫



徳田秋先生（北医療生協元理事長）が十一月十八日午前十一時半、肺がんのためご逝去。八十二歳。一九八三年北医療生協就職、一九八四年、あじま診療所所長、一九八五年北医療生協理事長・顧問を務め、二〇〇六年生協わかばの里施設長ののち、生協わかばの里診療所医師として勤められました。

また、一九九五年から二〇一二年まで県社会保障推進協議会議長、二〇一一年から核戦争に反対する医師の会・愛知の代表を務めるなど、県内の医療・社会保障改善運動、反核平和運動に大きな役割を果たしました。ご冥福をお祈り申し上げます。

北病院開設の後、1983年にあじま診療所をつくるために、徳田先生を南医療生協から迎えました。先生はすでにベテランの医師でしたが、診療所開設後に胃力メラの技術を習得されるなど、何事にも意欲的に取り組まれました。胃がん患者の早期発見は検査の技術向上以上に、早期に受診できる医療制度が大事だと常々話してみえました。その思いから社会保障充実の運動に力を注ぎ、県知事にも立候補されました。北医療生協では理事長を務められ、病気で倒れるまで介護老人保健施設生協わかばの里で診療してみえました。医師としての責務と誇りを強く意識して最後まで



住民のために活動された姿は忘れられません。深く御冥福をいのります。
北医療生協専務理事
田島 明

故徳田先生お別れ会

2014年1月19日(日)

午後2時～3時30分

場所：平安会館名古屋斎場
(北区瑠璃光町)

地下鉄名城線[志賀本通]4番出口下車
若葉通交差点を北へ徒歩5分

※基だ勝手ながら香典・供花・供物を御辞退申し上げます。



平安会館名古屋斎場

お問い合わせ

TEL 052-914-4554

事務局：神田